

## 2020 佐紀路カメラ散歩---はじめに / 佐紀路とは



平成から令和へ、令和の幕開けとともにその命名のもとになった万葉集は今、改めて多くの日本人に見直されています。

その万葉集によれば佐保川の北側、奈良市法蓮町、法蓮佐保山の丘陵地、JR関西本線の東から奈良坂にいたる一帯の山地は、「佐保山」と万葉集に詠われました。

一方、平城宮跡を含めた奈良市佐紀町を中心に、歌姫町、二条町、山陵町などに及ぶ地域は、「佐紀」と呼ばれました。

我々、NPO 共生学舎が景観保持活動をしている地域、JR 関西本線の西、24号線の西の丘陵地の南には、奈良の都の中心である平城宮跡があり、さらに古墳、特に陵墓が多く、また、法華寺などの古寺もあり、奈良時代の歴史を知る上で重要なところです。

左の『ならしみんだより 2月号』航空写真の左側の丘陵地は続日本紀の記載では、平城京に続く、松林苑があった場所だと言われています。松林苑は平城宮をゆうに凌駕する規模で平城宮北面大垣の北側 240m から京都府との県境までの 1.6km に残る築地塀とウツナベ古墳東側の谷付近までの 1.8km とも言われる広大な範囲だと推定されています。

松林苑の機能は、天皇の食膳に上がる惣菜や果樹・薬草などが栽培されていて宮殿や楼閣・馬場などもあったようです。

佐紀路カメラ散歩では、この松林苑も含めた現在の佐紀路を四季折々に散策して写真と一緒に見て行きたいと思います。お楽しみに